



2020年12月17日

各 位

会 社 名 株式会社ユーザベース
代表者名 代表取締役CEO 梅田 優祐
代表取締役COO 稲垣 裕介
(コード：3966、東証マザーズ)
問合せ先 執行役員CFO 千葉 大輔
(TEL: IR専門問合せ窓口03-4533-1999)

2020年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年12月17日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月9日に公表しました2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせします。

記

1. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	連結 売上高	連結 EBITDA	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 400	百万円 △410	百万円 △840	百万円 △6,890	円 銭 △202.11
今回修正予想 (B)	13,700	660	△150	△610	△6,760	△198.30
増減額 (B-A)	700	260	260	230	130	—
増減率 (%)	5.4%	65.0%	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2019年12月期)	12,521	△411	△1,236	△1,429	△1,620	△51.35

(注) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 1株当たり当期純利益については、2020年12月期第3四半期累計期中平均株式数34,090,396株で算出しています。

2. 修正の理由

売上高につきましては、SPEEDAを中心としたB2B SaaSビジネスは順調に拡大しており、また、NewsPicks事業における広告売上が第4四半期においても成長を続け、公表時の想定を大きく上回って推移しています。

また、当第4四半期連結期間においては、SPEEDA事業とNewsPicks事業の2021年以降を見据えた成長投資を実施する一方で、期初から新型コロナウイルス感染拡大に伴う外部環境の変化が生じて、十分な利益を確保出来るようコストコントロールを行ってきたため、営業費用の効率化が進んでいます。そのため前回公表予想から売上、段階利益ともに上方修正を行うこととしました。

(注) 上記の予想値は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出していますが、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上